



道徳だより

6月号

南砺市立井波中学校

令和4年6月21日発行

授業の様子を紹介します

道徳だよりでは、今後、道徳の授業の様子を中心に紹介していきます。ご家庭でも話題に上せていただければ幸いです。

◆道徳の評価について◆

道徳科の評価は、中学校学習指導要領（2017年告示）で、「生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。」と示されました。

本校では、一人一人を見つめ、よいところや輝いた姿を主としながら、「学習状況」や「道徳性に係る成長の様子」を評価することにしています。また、3学期の通知表において、文章で記述いたします。

3 学年

教材「島唄の心を伝えたい」

は、奄美大島の

伝統を受け継ぐため、島唄を習っている生徒の作文です。この話を基に、井波の伝統文化を継承していくために、自分には何ができるかを一人一人が考え、話し合いました。「木遣り踊りの練習に真剣に取り組みたい」「祭りなどの町の行事に積極的に参加したい」「もっと井波のよさを調べて、発信していきたい」と、郷土の伝統文化を大切にしたい気持ちを高めました。



2 学年

運動会の大縄競技で、障害のある矢部ちゃんを

入れ、クラス全員で跳ぶか跳ばないかを話し合う教材から授業を行いました。

教材文中のクラスの一員になりきって考えると、「やっぱり勝ちたい」、「矢部ちゃんが本番で引っかかるのはかわいそう」、「勝っても負けても全員で跳びたい」などの意見が出ました。授業を通して、考えの違いや障害の有無にかかわらず、クラス全員を大切にしたいという気持ちが高まりました。



1 学年

「楽寿号に乗って」という教材を読み、ボラ

ンティアの意義について考えました。

授業では、主人公が進んでボランティアに参加したいと思えるようになった理由について、最初は、「活動が楽しい」、「多くのことを教えてもらえて嬉しい」など、自分本位な考えが多く挙げられました。最終的には人のためにつながるとの考えが挙がり、ボランティアに対する意識を見直すことができました。

